

I 事業別助成金総括表

(単位:千円)

		平成18年度助成金(実績)		平成18年度助成金(計画)
1.共同助成事業				
①(PNファンド)	国内調査研究助成	11件	10,030	
	国内活動助成	6件	4,430	
	国内長期事業助成	4件	6,450	
	海外助成	6件	5,440	
	小計	27件	26,350	26,000
②(ナショナル・トラスト)	国内活動助成	2件	9,556	21,000
	計	29件	35,906	47,000
2.自主助成事業				
①(有力保護団体助成)	国内調査研究助成	3件	6,000	
	国内活動助成	4件	4,000	
	海外助成	2件	2,000	
	小計	9件	12,000	12,000
②(直接助成)	国内調査研究助成	3件	3,560	
	国内活動助成	5件	4,350	
	小計	8件	7,910	13,000
③(委託事業)	自然環境GIS(SISPA)の構築と運営	1件	10,000	10,000
	計	18件	29,910	35,000
	合計	47件	65,816	82,000

Ⅱ 助成金交付一覧

1. 共同助成事業

① 平成18年度(2006年)第17期プロ・ナトゥーラ・ファンド交付一覧

No.	テーマ	助成先	代表者	申請額	助成額
-----	-----	-----	-----	-----	-----

国内研究助成

(千円)

1	島根県大橋川の汽水環境の保全に関する研究(継続)	大橋川の汽水環境を調べる会	倉田 健悟 (島根大学汽水域研究センター 助教授)	1,500	1,000
2	風力発電事業における希少猛禽類の影響調査	猛禽類医学研究所(IRB-J)風力発電調査チーム	齊藤 慶輔 (猛禽類医学研究所 代表)	1,640	900
3	水田の圃場整備に伴うメダカの地域的絶滅回避に関する保全生物学的研究	岩手大学農村生態系再生研究会	東 淳樹 (岩手大学 農学部 講師)	980	980
4	地域に根ざしたケラマジカの持続的保全一島の子ども達とともに(継続)	ケラマジカリサーチグループ	遠藤 晃 (佐賀大学 農学部 特定研究員)	560	560
5	北海道に生息する希少サケ科魚類イトウの遺伝的構造と絶滅リスク評価	イトウ生態保全研究ネットワーク	江戸 謙顕 (文化庁 記念物課 天然記念物部門文部科学技官)	1,090	1,090
6	個体識別データベースを活用したゼニガタアザランの生活史に関する研究	ゼニガタアザラン個体識別研究グループ	藪田 慎司 (帝京科学大学 アニマルサイエンス学科 講師)	1,230	980
7	四国地域におけるチメドリ科外来鳥類の定着実態の解明	四国外来鳥類研究会	佐藤 重穂 (森林総合研究所四)	1,000	750
8	琵琶湖南湖における重要産業種ニゴロブナの生態情報の取得	琵琶湖漁業を考える会	山根 猛 (近畿大学 農学部水産学科 教授)	950	950
9	阿寒国立公園の植生に及ぼすエゾシカの影響と生態系管理に関する研究	阿寒エゾシカ調査会	高嶋 八千代 (北海道教育大学 釧路校 非常勤講師)	1,050	850
10	宮崎県綾町における市民参加による照葉樹林と針葉樹人工林の沢環境の比較と地域環境管理への提言	綾の森を世界遺産にする会	林 裕美子 (綾の森を世界遺産にする会 会員)	1,000	1,000
11	オオサンショウウオの潜在的な生息適地モデルの構築と保護計画への適用	兵庫県自然保護協会	田口 勇輝 (兵庫県自然保護協会 正会員)	1,170	970

国内研究助成 11件

10,030

国内活動助成

1	国内IBA(Important Bird Area 重要鳥類生息地)保護・保全ハンドブック(仮称)の作成	(財)日本野鳥の会	古南 幸弘 (日本野鳥の会 室長)	1,120	1,120
2	日本におけるリーフチェック活動10周年報告書の作成	コーラル・ネットワーク	宮本 育昌 (コーラル・ネットワーク 事務局長)	1,010	760
3	堆砂垣と植生保護を組み入れた海岸砂浜保全活動	特定非営利活動法人 表浜ネットワーク、堆砂垣・植生グループ	市野 和夫 (愛知大学総合郷土研究所 非常勤所員)	510	400
4	愛知県渥美山塊の猛禽類・哺乳類の生息環境を保全するための調査と啓蒙活動(仮)	渥美自然の会	大羽 康利 (渥美自然の会 代表)	600	600
5	ハッチョウトンボを主とした希少生物の調査と保全活動	新山山野草等保護育成会	北原 重利 (新山山野草等保護育成会)	700	500
6	日米カキ礁シンポジウムの開催「三番瀬とチェサピーク湾カキ礁の比較」	日米カキ礁シンポジウム実行委員会	伊藤 昌尚 (三番瀬市民調査の会 代表)	1,050	1,050

国内活動助成 6件

4,430

長期事業助成

1	都市圏の希少魚類絶滅回避プロジェクト－多々良川のセボシタピラとチクゼンハゼー	福岡都市圏の生き物を考える会	鬼倉 徳雄（九州大学大学院農学研究員 助手）	1,970	1,970
2	春子谷地の生物多様性と湿原における生物間相互作用	春子谷地生物相調査グループ	鈴木 まほろ（岩手県立博物館 専門学芸調査員）	2,000	2,000
3	ササ型林床のブナ林の更新過程に関する研究	ぶなっこ調査隊	西本 孝（岡山自然保護センター 主任研究員）	1,480	1,480
4	サンルダム建設が天塩川水素における水環境と水生生物に与える影響の評価	天塩川の自然を考える会	宮田 修 下川自然を考える会事務局	(追加分) 1000	1,000

6,450

海外助成

No.	テーマ	海外申請者	推薦者	申請額	内定額
1	コンゴ共和国オザラ国立公園北部における野生生物と人間の共存のための調査研究(継続)	萩原 幹子	小林 俊介（アースウォッチ・ジャパン 事務局長）	1,000	1,000
2	タイにおけるマングローブ植林・保全事業の現状と問題点－生態系復元に向けて	池島 耕	佐野 光彦（東京大学大学院農学生命科学研究科 助教授）	680	680
3	東アジア・オーストラリア地域渡り経路を利用する水鳥およびシギ・チドリ類の渡りにおけるカムチャッカの重要性	Yuri Gerasimov	柏木 実（日本湿地ネットワーク 副代表）	1,120	1,120
4	スマトラ島における現生中大型哺乳類の生息地破壊とその影響に関する調査研究(研究)	Mr.Rizaldi	渡邊 邦夫（京都大学霊長類研究所 教授）	1,330	1,100
5	焼畑移動耕作者定住化政策による焼畑短周期化が植物の多様性と遷移に及ぼす影響	Mone Nouansyvong	平田 豊（東京農工大学大学院 助教授）	1,690	1,200
6	バングラデシュにおける屋敷地の植物の多様性と村人の生活において果たす役割について	Mr.Rashedur Rahman	吉野 馨子（東京大学大学院農学生命科学 研究員）	340	340

海外助成 6件 5,440

プロ・ナトゥーラ・ファンド助成金額		合計	27件	26,350
-------------------	--	----	-----	--------

②平成18年度(2006年度)第2期ナショナル・トラスト交付一覧

No.	テーマ	助成先	代表者	申請額	助成額
-----	-----	-----	-----	-----	-----

(千円)

1	北海道・釧路市の土地取得	NPO法人・トラストサルン 釧路	黒澤 信道	8,000	8,000
2	北海道・札幌市の土地取得	NPO法人・カラカネイトン ボを守る会	田屋 勉	1,556	1,556

ナショナル・トラスト活動助成額			合計	2件	9,556
-----------------	--	--	-----------	-----------	--------------

2.平成18年度(2006年度)第17期自主事業交付一覧

①有力保護団体助成

No.	テーマ	助成先	代表者	申請額	助成額
-----	-----	-----	-----	-----	-----

国内調査研究助成

(千円)

1	普天間飛行場代替施設建設計画問題対処のための辺野古・大浦湾自然環境調査	(財)日本自然保護協会	田畑 貞寿 (財)日本自然保護協会 理事長	2,500	2,500
2	沖縄島における干潟・海草藻場の現況把握と解析 ー辺野古・泡瀬の海草藻場保全のためにー	(財)日本自然保護協会	田畑 貞寿 (財)日本自然保護協会 理事長	1,500	1,500
3	極東ロシアにおける鳥類標識調査の推進	山階鳥類研究所	島津 久永 (財)山階鳥類研究所 理事長	2,000	2,000

3件

6,000

国内活動助成

1	(1)石垣島白保サンゴ礁における海洋環境モニタリング調査 (2006年度)	(財)世界自然保護基金ジャパン	大内 照之 (財)世界自然保護基金 会長	1,400	4,000
2	(2)ジュゴン・ノグチゲラ・ヤンバルクイナの保護のためのGIS調査			1,400	
3	(3)南西諸島における有害化学物質の環境リスクに関する普及啓発活動			700	
4	(4)北方四島における自然保護活動支援 (2006年度)			500	

4件

4,000

海外活動助成

1	サハリン石油・ガス開発の環境影響における自然環境・野生生物保護のための調査研究・政策提言・啓蒙活動	国際環境 NGO FoE Japan	藤田 慶喜 (国際環境 NGO FoE Japan 代表理事)	1,000	1,000
2	<野生生物との共存、ロシア極東 沿海地方南西部> 東シベリア・太平洋石油パイプラインの太平洋岸ターミナル建設計画に伴うロシア沿海地方南西部の生物多様性ホットスポット保護	国際環境 NGO FoE Japan	藤田 慶喜 (国際環境 NGO FoE Japan 代表理事)	1,000	1,000

2件

2,000

有力保護団体助成額			合計	9件	12,000
-----------	--	--	-----------	-----------	---------------

②直接助成

No.	テーマ	助成先	代表者	申請額	助成額
-----	-----	-----	-----	-----	-----

国内調査研究助成

1	三宅島の噴火被害地における生態系の保護と復元に向けた生態学的基礎研究（5年継続） (4年目)	三宅島自然研究グループ	上条 隆志（筑波大学農林学系 講師）	1,000	1,000
2	新石垣空港建設予定地及びその周辺の洞窟郡に生息する絶滅危惧種コウモリの生息実態に関する学術調査(夏季調査)	鳥嶼における絶滅危惧種コウモリ類の生息状況に関する学術調査委員会(略称:コウモリ類学術調査委員会)	船越 公威（鹿児島国際大学 教授）	1,576	1,560
3	日本アルプスにおけるライチョウ生息数に関する調査	日本アルプス雷鳥研究会	中村 浩志（信州大学 教育学部 教授）	1,000	1,000

3件

3,560

国内活動助成

1	国際クマ会議開催とアジアのクマ類の保護管理指針提案	2006年 IBA日本開催実行委員会	青井 俊樹（岩手大学 農学部 教授）	1,000	1,000
2	シンポジウム「自然エネルギーと私たちの未来」～伊那谷の環境にふさわしい新エネルギー像を探る～	6・25 シンポジウム実行委員会	伊藤 精悟（信州大学 農学部 教授）	850	850
3	シンポジウム「生物多様性条約から見た第3次生物多様性国家戦略の課題」(仮)の開催	IUCN-J生物多様性国家戦略シンポジウム実行委員会	吉田 正人（国際自然保護連合日本委員会副会長）	1,000	1,000
4	北アルプス南部地域の主要山小屋に設置する外国人向けマナー看板の作成	北アルプス山小屋友交会	穂刈 康治（槍ヶ岳観光 代表取締役）	1,000	1,000
5	諫早干拓「時のアセス」2006シンポジウム	諫早干潟緊急救済東京事務所	代表 陣内 隆之	500	500

5件

4,350

直接助成額	合計	8件	7,910
-------	-----------	-----------	--------------

③委託事業

1	戦略的自然保護のためのGIS(地理情報システム)を活用した基礎情報集約システムの構築	(財)日本自然保護協会	田畑 貞寿((財)日本自然保護協会 理事長)	10,000	10,000
---	--	-------------	------------------------	--------	--------

委託事業額	合計	1件	10,000
-------	-----------	-----------	---------------

自主事業	総額	合計	18件	29,910
-------------	-----------	-----------	------------	---------------